パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ＜ベーシック＞

「人間尊重の心理学」を体験的に学ぶ

担当者	坂中正義（南山大学人文学部心理人間学科教授） 青木　剛（南山大学人文学部心理人間学科講師） 大島利伸（南山大学附属小学校教諭）
概要	パーソンセンタード・アプローチとは、アメリカの臨床心理学者、カール・ロジャースが発展させた人間尊重のありようや姿勢をさします。ロジャーズは、当初、「クライエント中心療法」という今日のカウンセリングや心理療法の基礎理論を発展させましたが、のちに、そういった心理臨床の世界に留まらない、様々な場面での人間尊重の姿勢を重視するパーソンセンタード・アプローチを展開していきました。 　パーソンセンタード・アプローチは、人が誰でも持っている、よりよくいきていこうとする力（実現傾向）を信頼し、自分も相手も大切にできるような自他尊重の関係を探求していくことが基本です。こういった考えは心理臨床家に限らず、教育者も看護者もグループやコミュニティでの実践者にとっても大切な視点といえるでしょう。 　このワークショップではパーソンセンタード・アプローチを学ぶための、はじめの一歩として、その基礎概念を体験的に学ぶことを目的としています。２日間、自分と相手をエクササイズやワークを通して味わうことで実感からパーソンセンタード・アプローチについて、それぞれなりの理解の手がかりをつかめればと思っています。 　パーソンセンタード・カウンセリングについて学びたい心理臨床家、カウンセラー、人間中心の教育について学びたい教育関係者、子どもとの対話を深めたい親や養育者、対話ある職場をめざす企業関係者など、自分も相手も大切にした関係に関心を持つ方などをこのワークショップのターゲットと考えています。 　なお、このワークショップは＜ベーシック＞とあるように、のちに予定している＜アドバンス＞の前提としてプランニングされています。アドバンスでは、アクティブリスニング、フォーカシングやエンカウンターグループのワークショップなどを構想しています。
日程	2019年10月26日（土）　10：00～17：00 　　10月27日（日）　9：30～17：00
定員	36名 ※定員を20名から増員しました。
会場	南山大学　D棟　D51教室
受講料	受講料　15,270円〈税込〉
メルマガ 講座報告	担当講師　坂中　正義　記 　2019年10月26日（土）～27日(日）の2日間の日程でパーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ＜ベーシック＞を実施しました。パーソンセンタード・アプローチを学ぶための、＜はじめの一歩＞として、その基礎概念を体験的に学ぶことを目的としたワークショップですが、やりかたではなくありかたにフォーカスしたものにしたいという担当者のねがいを込めてあたためてきたプログラムの＜はじめの一歩＞でした。 　かなり多くのキャンセル待ちをいただくほどの申し込みをいただき、定員をできうる限り増員し、36名の方にご参加いただきました。パーソンセンタード・アプローチをはじめて学ぶという方も一定数おられましたので、その基本仮説をゆっくり丁寧に取り扱っていきました。質疑や全体シェアリングでは参加者から活発な発言がありました。その内容もパーソンセンタード・アプローチの理解を深めるような、また、ご自身の理解を深めるような大切なものであったため、2日目はその時間を優先するためプログラムを一部変更したほどです。 　終了後のアンケートには「是非、アドバンスを！」という声を寄せていただきました。ありがたい限りです。担当者それぞれ、今回のワークショップから様々な刺激を受け、まだハッキリとしていなくても意味あるものが自分の中で育ちつつあります。パーソンセンタード・アプローチは自分なりの模索を大切にしています。そのようなありようの大切さをこのワークショップでも繰り返しお伝えしてきましたが、それは担当者も同じ事。生まれつつあるものと対話しつつ、パー